

シャロンの花

同窓会報

第 7 号

平成15年度総会・懇親会のお知らせ

日時 5月25日(日) 総会受付 午前11時

懇親会受付 正午

場所 ホテルサンガーデン千葉(千葉パルコ前)

Tel: 043-224-1131

会費 5,000円

懇親会だけの出席も大歓迎です。恩師の先生方も
多数ご出席いただいております。卒業生はどなた
でも出席できますので、お誘い合せの上ご来場ください。

ご出席を希望される方は、至急、同窓会事務局まで
ご連絡ください。 (Tel: 043-251-9221)

「シャロンの花」は校歌の歌い出します。
昭和26年、創立10周年記念に制定されました。
当時教頭でいらした沢田繁二先生作詞の
この校歌は、他校にはない美しい響きを持つ
詩で綴られています。同窓会報を創刊するに
あたり、懐かしい言葉「シャロンの花」をタ
イトルにいたしました。

シャロンは、イスラエル西部の地名です。
その地に咲く白い可憐なシャロンの花は、旧
約聖書で「純潔」の象徴とされています。

平成15年5月1日発行

(表紙タイトル・イラストデザイン 昭和35年卒 北川広志)

発行者

千葉県立千葉東高等学校

編集部

千葉県立千葉東高等学校同窓会事務局内

〒263-0021 千葉市稻毛区轟町1-18-52

TEL 043-251-9221 FAX 043-255-6575

印刷所 (株) 宮坂印刷 TEL 043-251-4537 FAX 043-251-4535



同窓会報「シャロンの花」 第7号発刊ご挨拶

千葉県立千葉東高等学校同窓会
会長 井戸川 浩

同窓会報「シャロンの花」第7号をお届けいたします。

同窓生の皆様はじめ恩師の先生方におかれましては、お元気でお過ごしでしょうか？

また、本年新たに卒業された622名の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。皆さんは卒業と同時に伝統ある本校同窓会の会員となりました。心から歓迎いたします。

この会報については、多くの卒業

生の方々や恩師の先生方から「毎号楽しみだ」という励ましのお手紙やらお言葉を頂き、編集関係者一同張り切っているところあります。

編集に当たりましては、卒業生はもとより母校生徒・教職員の皆様やPTAの皆様からの多大なご支援を得て発刊しており、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は人間なら還暦にあたる「創立60周年記念事業」を無

事終了し、本年は新たに「創立100周年祈念70周年記念事業」に向けてスタートすることになりました。

50周年ではタイムカプセルを埋め、60周年では芸術鑑賞設備を設置しました。70周年ではどんなことが考えられるでしょうか。卒業生の皆さんや生徒の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

同窓会はこのほかに学習・課外活動への支援等優秀な生徒を育成するためのささやかな支援を続けて参りました。それらの活動もこの会報でご報告申し上げます。

今後とも、会員の皆様と母校を結ぶ架け橋として「シャロンの花」に暖かいご支援をお願いいたします。

けてこられたのである。

卒業式の後、今の若者が経験する厳粛さは、せいぜい結婚式とお葬式くらいだろう。言い換えると現代日本はこの究極の出会いと別れの場だけにしか厳粛さを体験する場面を残さなかったと言える。

戦後、日本人は邂逅・別離また、存在や時間に対して、人の目の高さでしか見ることをしなかった。人の在り方・生き方について、時空を超えて次元の異なる、いわば聖なる位置から、厳粛さを伴って見ることを疎かにしてきた。それがまた、変な厳粛さに騙される若者も作ってしまった。

たかが人間同士の和氣藹々やお涙頂戴ごときで、自他の生や存在の意味、過ぎ行く時間の愛おしさについて、身に沁みて厳粛に受け止める感覚が育つはずがない。

殺伐たる現代、今こそ、他者にも大自然に対しても、厳粛なるもの、聖なるものを認めて生きるという心情・態度を育てることが必要だろう。いま、厳粛さの時空が出番を待っている。

卒業式を終えて



同窓会名誉会長（学校長）

寺田信彦

去る3月7日に全日制の生徒365名、9日には通信制の生徒257名が卒業した。これを以て生徒は、伝統ある同窓会の皆様方の仲間入りをさせていただいたわけだ。

卒業式は厳粛裡に行われた。

実はこの厳粛さということには大きな意味がある。

そもそも、我々は自分独りで生きてきたわけではない。また、人との出会いや別れは、その発端にせよ終焉にせよ、深慮するならば人知の及ばぬところといえる。そう考えると、自他の生、存在と時間、人の世の邂逅・別離はまさしく不思議なものであり、それは厳粛に受け止めるべきだ。

人は、出会いや別れの大きな節目に儀式を設定し、その儀式に厳粛さを加えることにより、参加者を含

め、自らをかく在らしめてきたこの世の存在と、永遠に過ぎ去って行く時間とに対し、畏敬の念と、かけがえのなさを感じる時を作ったにちがいない。

同時に、我々は、邂逅・別離の時、厳粛さとは裏腹な世俗的・現世的な方法でその情感を表出し、人の叫びや涙、音、味で溢れさせている。あるいは楽しみ、あるいは悲しみ、詠い、感情を発散させ、情を共有し合ってお互いの心の流れの量と質を高めあう作業もしてきた。

人は、このいわば聖と俗との間で魂のバランスをとることにより、出会いや別れの宿命と対話し、安逸・堕落への道をたどることなく、また孤独に陥ることもなく、魂を癒しつつ、同時に自らの尊厳と志を高く掲げる勇気を得て、困難な生を生き続

平成十四年度千葉県立千葉東高等学校同窓会総会報告



平成14年5月26日(日) ホテルサンガーデン千葉にて、来賓・会員約110名を集めて同窓会総会が開催されました。

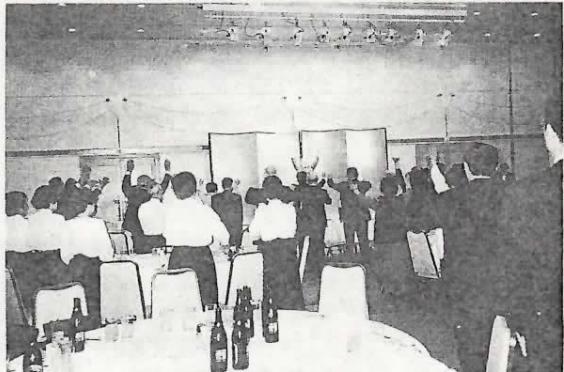
高橋副会長の司会進行によって総会が始まり、寺田名誉会長から挨拶とともに母校生徒の文武両面にわたる活発な活動報告と同窓会の支援に対する謝辞を頂き、続いてご来賓の畠山一郎先生(元校長)から、生徒の気力充実はどこの学校にも負けない、更に頑張って欲しい、自分は東高を母校と思っているという心温まるご挨拶を頂きました。

続いて、藤井常任幹事を議長に選出し、すべての報告審議事項が提案通り承認され、総会は滞りなく終了しました。

なお、「インターネットを活用した情報提供について考慮願いたい」旨の提案が参会者から出され「高齢者の存在もあり、全てインターネット化するには難しいが、研究する」旨回答し、今後の研究課題とさせていただきました。

引き続いて懇親会に入り、アトラクションに本校元職員の田村照子先生が師事している全日本ハーモニカ認定指導員の飛田陽一郎さんを始め総勢9名によるハーモニカ演奏を楽しみ、続いて緒方尚絃さん(S39卒)によるバンド演奏で盛り上げていただきました。

最後に、参会者全員で♪シャロンの花と・で始まる伝統の校歌を斉唱し、来年の再会を約して散会となりました。



最後に全員で万歳三唱



ハーモニカ演奏



樂団演奏

**平成13年度千葉東高等学校
同窓会決算書**

総 収 入 ¥8,065,446
総 支 出 ¥4,625,309
残 額 ¥3,440,137…次年度へ繰越

収入の部 (単位:円)

項目	収入済額
1. 会費	1,914,000
2. 入会金	319,000
3. 前年度繰越金	3,690,560
4. 同窓会活動維持基金	1,614,400
5. 雑収入	527,486
計	8,065,446

支出の部 (単位:円)

項目	支出済額
1. 運営費	1,338,442
(1) 会議費	116,977
(2) 総会費	460,000
(3) 通信費	226,820
(4) 慶弔費	486,710
(5) 旅費	0
(6) 雑費	47,935
2. 事業費	3,286,867
(1) 同窓会報発行費	3,051,867
(2) 母校部活動支援費	195,000
(3) 進路学習支援費	40,000
(4) 海外派遣支援費	0
3. 予備費	0
計	4,625,309

基金繰入金会計

平成14年3月末現在 ¥9,823,134

(単位:円)

項目	収入	支出
前年度繰越金	9,811,847	0
利息	11,287	0
計	9,823,134	0

創立60周年記念事業基金

平成14年3月末現在 ¥1,553,000

(単位:円)

項目	収入	支出
前年度繰越金	6,461,809	6,465,148
今年度入金分	1,553,000	0
利息	3,339	0
計	8,018,148	6,465,148

会計監査報告

平成13年度同窓会会計の出納簿、証拠書類及び預金通帳等を詳細に検査した結果、処理が正確であり支出も適正であることを認めたので、ここに報告します。

平成14年5月12日

千葉県立千葉東高等学校同窓会

会計監査 石井洋子㊞
澤田繁信㊞

平成14年度千葉東高等学校

同窓会費予算書

収入の部

(単位:円)

項目	予算額
1. 会費	1,830,000
2. 入会金	305,000
3. 前年度繰越金	3,440,137
4. 同窓会活動維持基金	1,500,000
5. 総会会費	200,000
6. 広告代	150,000
7. 雑収入	10,000
計	7,435,137

支出の部

(単位:円)

項目	予算額
1. 運営費	1,820,000
(1) 会議費	200,000
(2) 総会費	600,000
(3) 通信費	300,000
(4) 慶弔費	600,000
(5) 旅費	20,000
(6) 雑費	100,000
2. 事業費	3,750,000
(1) 同窓会報発行費	3,100,000
(2) 母校部活動支援費	350,000
(3) 進路学習支援費	100,000
(4) 海外派遣支援費	200,000
3. 予備費	1,865,137
計	7,435,137

平成13年度事業・活動報告

- | | | | |
|----------------------|--|-------------------------|----------------------|
| 平成13年 4月 1日 (日) 役員会 | H13 総会概要決定 | 平成13年12月13日 (木) 学校行事 | 創立60周年記念事業芸術鑑賞会 |
| 平成13年 4月 7日 (火) 学校行事 | 全日制入学式参列 | 1,300人参加 | |
| 平成13年 4月15日 (日) 学校行事 | 通信制入学式参列 | 平成14年 2月 2日 (土) 役員会 | 基金応募者拡大対策について |
| 平成13年 5月11日 (金) 学校行事 | 第3回創立60周年記念事業実行委員会 | 「シャロンの花」編集について | |
| 平成13年 5月20日 (日) 総会 | ホテルサンガーデン千葉 | 平成14年 3月 2日 (土) 役員会 | 総会アトラクションについての検討 |
| 平成13年 6月 9日 (土) 役員会 | 総会反省会、13年度役員会日程決定、14年度総会日程検討 | 週5日制導入に伴う14年度役員会日程の検討決定 | |
| 平成13年 7月 8日 (日) 役員会 | 14年度総会開催場所の仮決定 | 平成14年 3月 8日 (金) 学校行事 | 全日制卒業式参列 |
| 平成13年 9月 1日 (土) 学校行事 | 進路講演会報告、60周年記念誌掲載記事検討 | 平成14年 3月 8日 (金) | 「シャロンの花」第6号25,000部発行 |
| 平成13年 9月15日 (土) 学校行事 | 東雲祭参観 | 平成14年 3月10日 (日) 学校行事 | 通信制卒業式参列 |
| 平成13年 9月25日 (火) 学校行事 | 進路学習支援 山中操氏(S44卒)
佐藤明彦氏(S50卒) 小山雅夫氏(S52卒) 浜谷真美氏(S55卒) の4氏により実施。 | | |
| 平成13年10月 6日 (土) 役員会 | 同窓生の催事支援について「同窓会後援」は事前承認と決定
「シャロンの花」掲載記事チェック | | |
| 平成13年10月14日 (日) 学校行事 | 通信制体育祭参観 | | |
| 平成13年10月23日 (火) 学校行事 | 東雲ネット 「さわやかミニトーク」参加 | | |
| 平成13年11月10日 (土) 学校行事 | 創立60周年記念式典 | | |
| 平成13年11月11日 (日) 役員会 | 旧職員、同窓生の叙勲については申告があった場合で間に合えば祝電、「シャロンの花」への掲載 | | |
| 平成13年12月 2日 (日) 役員会 | 60周年記念同窓会負担金について報告
「シャロンの花」原稿について | | |
- 平成14年度事業計画**
1. 総会 平成14年5月26日 (日) ホテルサンガーデン千葉
 2. 同窓会会報「シャロンの花」第7号発行
 3. 同窓生・恩師对外発表会等参観支援・顕彰活動
 4. 同窓会維持基金、創立100周年祈念70周年記念事業基金等募金活動
 5. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
 - ① 進路学習支援 (先輩による実業界報告と懇談、事業所訪問)
 - ② 部活動 (全国大会出場) 支援
 - ③ 海外留学引率者支援
 - ④ 対外発表会等支援
 - ⑤ 卒業式・入学式・体育祭・東雲祭等行事参列・参観等
 6. 創立100周年祈念70周年記念事業推進活動
 7. 支部発足支援活動
 8. 役員会 原則毎月第二日曜日 (8月・1月休会)

(但し、通信制スクーリング開催日準拠)

部活動等の記録から

<山岳部>

◇インターハイ(茨城県)

男子団体の部 第6位(出場46校)

※昨年に続き2度目の入賞

女子団体の部 第9位(出場46校)

※男女とも5年連続インターハイ

ベスト8入り

◇JOC全国クライミング大会

男子B(18歳未満)の部

第3位入賞 竹内俊明

第7位 太田勇輝

◇関東クライミング大会(栃木県今市市)

男子個人の部(32名参加)

第2位入賞 竹内俊明

第6位入賞 高橋淳

第6位入賞 香川直毅

◇第1回県ボルダリング大会

男子団体の部 優勝(初)

男子個人の部

第2位入賞 竹内俊明

第3位入賞 太田勇輝

第4位入賞 香川直毅

第5位入賞 高橋淳

<ラグビー部>

全国大会選考会

◇予選リーグ

千葉東 26-7 市川

千葉東 29-31 八千代松蔭

(トライ差で決勝進出)

◇決勝トーナメント

1回戦 千葉東 20-19 東葛飾

2回戦 千葉東 12-38 千葉工

◇新人戦ブロック予選

11/16 千葉東 19-10 千葉経済

11/23 千葉東 33-15 市立銚子

11/30 千葉東 14-21 東京学館

12/22 千葉東 34-0 千葉北

県大会進出決定

<バレー部>

(男子)

◇成田CH大会(準決勝)

千葉東 1-2 富里 第3位

◇千葉市民大会(決勝)

千葉東 2-0 千葉西 優勝

◇内房大会(決勝)

千葉東 2-0 京葉工業 優勝
(2年連続)

(女子)

◇千葉市民ジュニアバレーボール大会

千葉東 2-1 千葉女子

千葉東 2-0 県立千葉

千葉東 0-2 敬愛学園

◇内房大会

千葉東 2-0 安房農業

千葉東 2-1 東海大望洋

千葉東 2-1 木更津

千葉東 0-2 長狭

◇新人戦ブロック予選

千葉東 2-0 こてはし

千葉東 2-0 市立千葉

千葉東 0-2 市立稻毛

<陸上競技部>

◇第41回千葉県高等学校新人陸上競技大会

(男子)

110mH 小林宏隆 準決勝進出(県ベスト24)

400mH 小林宏隆 準決勝進出(県ベスト24)

(女子)

100m 鈴木理沙 準決勝進出(県ベスト24)

800m 室殿若菜 準決勝進出(県ベスト24)

◇男子第57回千葉県高等学校駅伝大会

永井・廣田・小柴・緒方・芳賀・

藪内・鈴木 2° 29' 17 45位

◇女子第14回千葉県高等学校駅伝大会

室殿・山岡・渡辺・戸枝・石田

1° 30' 02 34位

母校は 今...

<サッカー部>

◇高校サッカー選手権大会

千葉県大会

千葉東 0-1 東京学館浦安(2回戦)

新人大会 第10ブロック予選

千葉東 0-1 柏井(2回戦)

<テニス部>

(男子)

◇公立高大会 団体戦

原塚・高石・須田・森川・橋

千葉東 0-2 八千代(ベスト16)

◇千葉ジュニアオーガスト

優勝 原塚慎哉

4位 原塚・高石組

◇千葉ジュニアサマー

準優勝 原塚慎哉

◇新人大会(ブロック)

2位 団体戦

優勝 原塚慎哉

3位 原塚・須田組

◇新人大会(県大会)

個人 原塚慎哉(ベスト16)

◇あすなろ第2回大会

A優勝 原塚、B優勝 須田、

B3位 片柳、C3位 増田、

B3位 森川・高石組

◇ブロック1年生大会

優勝 片柳・米司・今井・

奈須野・泰間・森川・田中

(女子)

◇新人戦ブロック大会

個人戦S 橋爪(ベスト4)

個人戦D 橋爪・古川(ベスト4)

◇あすなろ大会

シングル

B優勝 橋爪・青山

B準優勝 古川

C準優勝 野沢・及川

ダブルス

優勝 野沢・及川

◇城東ジュニア

優勝 橋爪

<剣道部>

◇新人戦ブロック予選

男子の部 決勝戦

千葉東 0-4 市立稲毛(ブロック2位)

女子の部

千葉東 3-1 千葉女子(ブロック3位)

<水泳部>

◇千葉県選手権

(男子)

100m平泳ぎ 第4位 保谷英隆

200m平泳ぎ 第3位 保谷英隆

(女子)

200m個人メドレー 第6位 山下由莉

100m平泳ぎ 第4位 山下由莉

◇千葉県新人大会

(男子)

200m個人メドレー 第3位 保谷英隆

400m個人メドレー 第5位 保谷英隆

(女子)

100m平泳ぎ 第5位 山下由莉

200m個人メドレー 第5位 山下由莉

<音楽部>

◇NHK全国学校音楽コンクール

千葉県コンクール

1位最優秀賞・金賞

関東甲信越コンクール 奨励賞

◇全日本合唱コンクール

千葉県コンクール 高校B部門銀賞

<吹奏楽部>

◇千葉県吹奏楽コンクール

B部門の部 金賞

<化学部>

◇千葉県児童生徒・教職員科学作品展

優秀賞 接着剤研究チーム

優良賞 タンパク質研究チーム



通信制 剣道部 内田君 日本一の快挙!

平成14年8月12日(月)全国高等学校定通大会が東京武道館で開催され、本校通信制の課程内田智貴君が初の全国大会優勝の栄に浴しました。

なお本校通信制の課程ではこのほかに、男子砲丸投げ個人 加瀬静馬君、女子200m陸上個人木野咲百合さん、バレーボール女子団体、バドミントン女子個人柑本真澄さん、剣道団体、卓球女子個人仙川 彩さんらがそれぞれ優勝しています。

通信制体育祭見聞記



10月14日(日)快晴に恵まれた中、千葉東高通信制の体育祭が挙行されました。

同窓会役員として招待を受け、通信制の皆さんとの真剣な取り組みをつぶさに見聞する機会を得ましたので、以下にご報告いたします。

生徒の自主的な運営を推進しているためか、最初はぎこちなさを感じましたが、皆で力を合わせ始めたとたんに軌道に乗りはじめ、安心して見ていられました。

私が大きな感動を覚えたのは、足

に風船をつけて互いにぶつし合う競技です。通信制では、生徒の家族も共に競技に参加することがありますが、何回戦か終わってみると、幼い子供の参加者の風船が全て残っているのでした。そして、それが勝利に結びついたのを目の当たりにし

た時、東高通信生徒の中に、強きを挫き、弱きを助ける武士道精神が生きていると感じました。

障害物レースでは、最後にバットの回りを3回回る場面がありました。回数をごまかす人もなく、爽やかに楽しんでいたのが印象的でした。縄跳びは、さすが体力勝負ということもあり、10回以上飛べないチームばかりで、平素の運動不足を露呈する結果になりました。(勉強に打ち込みすぎたかな?) 縄引きは、全員の呼吸が合わないと勝利は難

しいですが、赤組の圧倒的勝利でした。よく呼吸を合わせていたと思います。

勝負は最後のリレー競争に持ち越され、赤組がそのまま優勝するか、白組の逆転優勝となるかの好勝負。抜きつ抜かれつのシーソーゲームが展開され、韋駄天ことアンカーにすべてを託し、僅差で赤組が優勝しました。

来年も新しいアイデアあふれる体育祭であることを祈りつつ、グランドを後にしました。

(長谷川直和 記 同窓会副会長)



2002年9月14日母校の第39回文化祭を見に行く。

この日は土曜日であったが、前日に続いて文化祭2日目である。

学校に着いたのが11時近くであつたため、行事は既に始まっていた。正門を入ると、達筆な文字の東雲祭の看板が目に飛びこむ。親子連れらしき見学者もいる。親と思える人は

卒業生かと勝手な推測をしながら玄関前まで来ると、在校生から東雲祭のプログラムを手渡される。

ライトグリーンの画用紙にパソコンでレイアウトされた洒落た案内図だ。それによると参加団体は、各クラスを始め、部・同好会を含めて合計54もある。これでは目



東雲ネット

さわやかミニトーク

11月1日(金)母校セミナーハウスにて「東雲ネット」「さわやかミニトーク」が近隣の方々、同窓会、PTA、教職員の参加を得て開催されました。

このプログラムは学校とそれを取り巻く周辺地域との建設的な協調、地域コミュニティ作り、開かれた学校作りなどを狙いに千葉県教育委員会が学校を通じて取組む《学校を核とした1000ヶ所ミニ集会》事業であります。

最初に授業参観をし、続いてセミナーハウスにて本校教育活動の実際や、生徒に関する話し合いを行いました。難しい授業に真摯に取組む生徒の姿に感動を覚えた方もおられ、お褒めの言葉を頂きました。

近隣の自治会の方々からは地域環境を整備し、活性化する様々な取り組みの紹介があり、その中でも本校吹奏楽部が地域のイベントに参加し、演奏したことに謝辞がありました。

PTAからは地域の方々が温かい目で子女である生徒を見守ってくれていることへの感謝の表明がありました。今後更に地域・学校・家庭の連携を深め、より良い地域コミュニティーを作ろうと決意表示があり盛会裏に終了しました。



的の教室を見つけるのは容易ではなかろうと思うが、例年の行事ゆえ作者も心得たもので、教室ごとの催し企画が一目でわかる見取り図がついている。これならば、初めての来校者でも戸惑うことなかろう。

先ず始めに、体育館の催しものを覗いてみる。照明を控えめにした館内はバンド演奏を楽しむ立ち見客で熱気があふれて、まだ9月だというのに、まるで館内は暖房してあるようだ。3年1組有志出演による折から話題のミュージカル THE LION KINGの上演。道具も舞台衣装もあまり金をかけずに？手作りと創意工夫で観客を呼ばうとする熱意が感じられる。

一般教室棟に入ると、縁日・研究発表・チャリティーバザー・寸劇など各団体が今日の成果を見てもらおうと、見学者の呼び込みに懸命である。この商売？熱心さには脱帽。

セミナーハウスに出店したカレー屋や牛丼屋は、お祭り気分もあってか、客の行列ができるほどの繁盛ぶりだ。これに対し、理系も文系も研究発表室には、縁日や飲食店に比べて訪問者が少ないようだ。企画者にとっては残念且つ不満なことだろう。

全般を通じてどの団体も周到な準備と練習のもとに実行された企画であることが感じられたが、限られた時間の中では見残した展示物も多く、いささか心残りのまま学校を後にした。

盛り沢山の企画、楽しい催物、皆さん今秋の東雲祭にお出かけになりませんか？

(高橋一郎 記 同窓会副会長)

東雲祭雑感



今年もヨロシク!! 健闘を誓い合う 布先生(右)と石渡先生(左)

全国高校サッカーダイバーコンビの活躍!!

(市立船橋高校3年振り4度目のV)

東高サッカーディバーコンビの活躍!!

平成14年度全国高校サッカー選手権大会は千葉県の雄イチフナ（市立船橋高校）が3年ぶり4度目の優勝で千葉県に優勝旗をもたらしました。その陰には、母校千葉東高校サッカーディバーコンビがそれぞれ部長・監督として活躍したことは、案外知られていません。編集部はこのたび、卒業式等学校公式行事で忙しい小川輝男教頭（S50卒）のご配慮で時間を割いて頂き、東高への思いを語っていただきました。

(インタビュー藤井武彦S39卒)

藤井：どうも、お忙しいところを母校“シャロンの花”のために時間を割いていただき、ありがとうございます。また、このたびは、全国優勝おめでとうございます。

石渡・布：ありがとうございます。

藤井：早速ですが、千葉東高時代の思い出を…。

石渡：そうですね。東高は自由な雰囲気で、その分先生方によく怒られたことは多いけれど、褒められたことは少なかったかなあと…（笑）

その分勉強はさておき、サッカーに没頭できた充実した毎日でしたね。当時のサッカーディバーコンビは同好会から部に昇格したばかりで、ラグビー部や野球部が練習している片隅で細々と練習していました。グラウンド全面を使った練習は朝7時からでした。練習前にゴールをグラウンドに移動する作業が日課で、寒い時にはゴールの鉄の冷たさが手のひらに食い込んできることもあり、それも今では楽しい

思い出です。

布：そう、7時の練習に間に合うために毎朝5時起きで習志野から通学していました。好きな練習ができるので朝がつらいと思ったことはありませんでした。ただ毎朝2食の弁当を作ってくれた母には今でも感謝しています。

新設の部でグラウンドが自由に使えない悲劇を味わいながら新任の梶原由紀夫先生（現 千葉県サッカー協会理事長）に情熱溢れる熱血指導を受け関東大会に出場できたことは生涯サッカー人生を送るキッカケになりました。そういう意味から“生涯の師”である梶原先生との出会いは私の人生の宝物です。梶原先生は今でもいつも試合を見ていただき、ご指導を受け感謝に耐えません。

藤井：出会いは大切ですね。ところで後輩のために人生訓などご披露してください？

布：高校時代の生活はサッカーが大好きで勉強はしな

い。当然進路は体育大で学生サッカー日本一になりました。次のステップは社会人リーグ入りと思われていましたが、自分としてはプレーヤーとして生きるよりも、教育を通してサッカーの普及、人格形成に取り組み、多くのプレーヤーを世に送り出す教師を目指しました。市船の監督に就任して同僚の先生、町の人々、保護者等多くの人に支えられてきました。

私の人生訓は米国プロ野球の片腕の投手アボット氏の書いたLife is Challengeに感銘し、“挑戦し続ける人生を送りたい”ということです。

石渡：自分はサッカー選手としてはたいしたことはなかったですが、選手生活を通して“労を惜しまず汗をかく”ことの大切さを知り、人を作ることに情熱を燃やす教師でありたいと念願してきました。

：終わりに、市船でのコンビ生活を振り返って、何か感想を聞かせてください。

石渡：布監督は常に練習や試合に前を向いているので練習しやすい環境作りや選手達のコンディション作り等、監督と選手が力を発揮できるよう常に心掛

けてきました。8年間大きな食い違いもなく運営できたことに満足しています。

布：マスコミのスポットが常々監督に集中するので、得てして部長の存在が見えにくいことがあります、日ごろ部長とはアイコンタクトでお互いのパートで力を発揮してきました。いつも部長には感謝の気持ちで一杯です。

藤井：どうもありがとうございました。

* * * * *

《インタビュー後記》

お二人の話した“阿吽の呼吸で8年間”これが市船サッカー部の信頼に基づいたパワーの秘密だとよく理解できました。4月以降、石渡先生は新チームの監督としてV2を目指し、布先生は日本サッカー協会入りをして、U-15日本代表監督に就任することが決まっています。自分をここまで育ててくれた東高校と市船に感謝していますという言葉を残しました。両先生の今後の活躍を期待しています。

卒業式挙行さる



去る平成15年3月7日に全日制が、続く3月9日には通信制の課程それぞれの平成14年度卒業証書授与式が母校講堂にて厳粛に行われました。一同敬礼、国歌齊唱、開式の辞、校歌齊唱、卒業証書授与、校長式辞、来賓祝辞（PTA会長、同窓会会長、通信制は更に振興会会长）在校生送辞、卒業生答辞、送別の歌齊唱（仰げば尊し、螢の光）閉式の辞と滞りなく進み、全日制普通課は365名、通信制の課程は257名が巣立ちました。

寺田校長（同窓会名誉会長）からは、“365名、257名それぞれめでたく卒業の陰には、本校教諭、保護者、地域関係者の支援の賜物であること、ふるさと（出発点）はいつでもわれわれを見ている。

（卒業生は）将来必ずリーダーとして活躍するだろう。一隅を照らすは国の宝というが、そういう人材

になることを希望する”旨の式辞を得ました。

卒業式はすなわち、同窓会入会式でもあります。

今年多くの新入同窓生を迎えるました。

同窓会を代表して心から歓迎を込め、“学問は國家社会の役に立つ人材の養成”であるから今後も勉学をと祝辞を述べました。在校生の感謝と惜別の情を込めた送辞、卒業生の感動的な答辞に一同声なく涙しました。

本校の卒業式はどちらも厳粛に執り行われ、いささかも騒いだりする生徒はありません。このため、各界の来賓の方々から口々に賛辞を頂いております。

こうした厳粛さが維持できている校風は正にリーダー養成学校の面目躍如たるものがありました。

(井戸川 浩記 S34卒)

(1) 野球部OB新年会

平成14年1月26日(土) 18:00から千葉そごう東天紅にて。

当時は若きは18歳、高齢は68歳と親子ほどの年齢差の集会でした。昭和49年卒の蜂谷 守さんは親子で参加して下さり、皆から拍手喝采を浴びました。

野球部の益々の隆昌を祈念して散会しました。



時を

(2) 第7回シャロン31会

(旧千葉三高昭和31年卒有志)

平成14年11月16日(土) 15:00から千葉市ほてい家にて。

恩師5名と会員58名の出席を得て開催。はじめに物故者28名の冥福を祈り黙祷。和やかに盛り上がり、校歌“♪シャロンの花”を斉唱し、再会を約して閉会。



雑感

創立60周年記念行事を無事終了し、引き続き70周年に向けて募金活動を続けています。

通信制の移管問題などをかかえ、高校教育界の変化とともに母校も大きく変わっていくでしょう。

今から40年後、西暦2041年が創立100周年です。

現在の在校生が50歳代半ばを過ぎ、社会的にも極必要なポストについているはずだから、立派に100周年をやってくれるだろうと期待し、しかし、70周年80周年という10年単位の周年事業も節目として意義あるものですからそれらを両立させる基金として“母校創立100周年祈念基金70周年事業基金”(100周年をめざして、節目の70周年記念事業をしよう)を創設してみたらどうだろうかななどと白昼の夢を膨らませていたのが昨年の“雑感”でしたね。多くの皆さんの賛同が集まり、とうとう作って下さいました。皆様の御芳志を是非是非お願ひいたします。

(S34卒 井戸川 浩 同窓会長)

♪♪定期演奏会♪♪

《平成14年度報告》

- ◆ 吹奏楽部 平成14年5月4日(土)
千葉市若葉文化ホール
- ◆ マンドリン樂部 平成14年6月12日(水)
千葉県文化会館大ホール
- ◆ 音樂部 平成15年3月29日(土)
ぱるるプラザ千葉ぱるるホール

上記定期演奏には、多数の方が御来場され、盛況のうちに終了することができました。特にマンドリン樂部は40回記念公演にあたり、藤掛氏が「Life Beat」という曲を作曲して下さいました。

《平成15年度予定》

- ◆ 吹奏楽部 平成15年5月5日(月)
千葉市若葉文化ホール
- ◆ マンドリン樂部 平成15年6月12日(木)
千葉県文化会館大ホール
- ◆ 音樂部 平成16年3月末頃

* 詳しくは、各部顧問教諭にお問い合わせ下さい。

叙勲 元校長 森田 章先生(第12代)

平成13年秋の叙勲にて勲四等瑞宝章に輝く

越えて

(3) 音楽部OBグループ“ベース6”フジTVで生中継
平成14年6月27日(木)放送。応募者500組の中から予選12回を通過して選抜された本校音楽部OBグループ“ベース6”が母校音楽室から生中継されました。写真は左から田中義恭(H5卒)、芝沼康寛(H4卒)、田中浩之介(S61卒)、鈴木肇(S61卒)、浜田貴宏(H5卒)、加藤哲雄(H5卒)の皆さん。



(4) ラグビー部創部50周年記念パーティー開催

平成15年1月4日(土)千葉市内のホテルでOB、歴代監督、来賓の方々が集い、出席者200名という盛大なパーティーが開催されました。

熊谷憲市郎OB会長の挨拶に始まり、臼井日出男・県ラグビー協会会長、夏目健・県ラグビー協会理事長からはご祝辞をいただきました。また、1・2年現役選手の山崎主将からは新人大会への抱負を語ってもらい、大喝采を浴びました。

思い出話が盛り上がり、熱いパーティーとなりました。

消息

計音 全日制 寺村 紘二 先生 (S31~S34) 教頭 H14.1.16 96歳
通信制 小泉 誠 先生 (S51~S63) 社会 H13.8.20 74歳
通信制 植田 兵衛 先生 (S36~S44) 国語 H14.5.10 92歳

サンイチ シャロン31会

(旧 千葉三高 昭和31年卒業)

有志一同

母校の発展をお祈りします。

貸ビル業
JR蘇我駅西口前
新月

千葉市中央区今井2-4-7
043-261-2850
大森啓護 昭和31年卒・野球部

ギャレックスチバ株式会社

—営業品目—

学校体育衣料／スポーツ用品／カバン・校章
名札・腕章・旗／トロフィー／インテリア用品
オリジナルTシャツ・トレーナー／プリント加工
イベントジャンバー

代表取締役
澤田繁信
(昭和46年卒)

〒260-0834千葉市中央区今井3-1-9
TEL 043(261)4528
FAX 043(265)5446
E-mail:jericle@olive.ocn.ne.jp

人間生命の運動法則を研究する科学

千葉人間科学協会

理事長 小塙興作 (高校第11回卒)
千葉市若葉区桜木町330-50
043(231)9215

同窓会活動維持基金
創立100周年祈念

70周年記念事業基金 引き続いてご協力を

60周年記念事業では多くの皆様からのご芳志をいただき、誠にありがとうございました。また、同窓会活動維持基金によりまして今回も皆様に会報をお届けすることができました。

郵送料の負担が大きい中、毎年、継続的に会報を発行するためには、一人でも多くの方々からのご賛同を得て基金の充実を図らなければなりません。

お手数ながら、同封の郵便振替用紙にて1口2千円、何口でも結構ですので、ご送金下さいますようお願い申しあげます。

郵便振替口座 00160-8-148932
千葉東高等学校同窓会

・同窓会役員会より・

※同窓会報の編集スタッフ及び総会の企画・運営等、同窓会の仕事に興味を持ち、お手伝いしてくださる方を募集しております。

※クラス会・同期会・OB会等を開催されましたか、会報に掲載いたしますので、簡単な紹介記事と写真(白黒・カラー・デジタル写真なんでも可)をお送りください。

※会員の住所・氏名等の変更はご連絡くださいますようお願いいたします。

上記のいずれのお問い合わせ・ご連絡は、同窓会事務局までお願いいたします。

同窓会事務局：千葉県立千葉東高等学校内
〒263-0021 千葉市稻毛区轟町1-18-52
TEL: 043-251-9221 FAX: 043-255-6575

表紙リクエイン

皆さん気づかれたでしょうか?
「先輩ですか?」デザインをされた北川さんは、ある日真向かいに住んでいる女性から声をかけられたそうです。この一声で高校当時を懐かしく思われて、「いろんなところにシャロンの花が散らばり…。一生懸命生きているなあ~。」とリデザインを思いつかれたそうです。皆さんの周りにもきっとシャロンの花たちが広がっているのでは…。

株式会社 高品ハウジング

本店 (木曜日定休)

〒264-0024

千葉市若葉区高品町1585-1

TEL 043(232)7342

FAX 043(232)0696

インターネットホームページアドレス
<http://www.takashina.co.jp/>

都賀駅前支店 (木曜日定休)

〒264-0026

千葉市若葉区西都賀3-19-4

TEL 043(290)1008

FAX 043(287)0400

都賀支店 (木曜日定休)

〒264-0025

千葉市若葉区都賀3-4-1

TEL 043(226)4521

FAX 043(226)4520

千葉中央支店 (木曜日定休)

〒260-0015

千葉市中央区富士見2-24-1

TEL 043(226)1555

FAX 043(225)1777

代表取締役 山 中 操

(昭和44年卒)

ベンリーショップ

四街道店

Tel/Fax. 043-421-2277

浸透印(認印、訂正印) 15分~

(朱肉のいらないハンコ)

中村千枝子 (S.44年卒)



◆印鑑作成(実印、会社印) 2時間より

◆各種印刷 名刺 15分~

葉書 30分~

◆靴修理、合いカギ作成、力バン修理

◆傘修理、刃とぎ、表札、ネーム彫刻

木造在来

鉄骨アーム工法

特許第1833643号

株式会社 石川建設

代表取締役 石川 公之

宅地建物取引主任者 (昭和45年卒)

松ヶ丘支店 千葉市中央区大森町477-3 043(264)5111(代)
白旗支店 千葉市中央区白旗3-11-19 FAX 043(264)5113
本社 千葉市中央区大森町438
千葉県知事 免許不動産(8)第4549号 建築(般8)第516号

発明者 石川 公之
特許 第1678947号 木造住宅の筋違窓
特許 第1833643号 2階建木造住宅の組立工法

西千葉 県立千葉東高校前入る
はり・きゅう・あんまマッサージ・指圧

湯浅治療院

日・祝日も診療

出張は夜12時まで

=定休日 金曜日=

043)251-8425(治療室)
252-2009(自宅)

〒260-0044 千葉市中央区松波4-13-6

